



2027年2月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年7月15日

上場会社名 株式会社コメダホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 3543 URL <https://komeda-holdings.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）甘利 祐一
問合せ先責任者 （役職名）専務取締役CFO （氏名）清水 宏樹 TEL 052-936-8880
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期第1四半期	15,413	12.7	2,646	15.5	2,590	13.1	1,781	14.2	1,761	14.7	1,858	17.2
2026年2月期第1四半期	13,676	23.8	2,291	8.5	2,290	8.6	1,559	8.5	1,535	6.8	1,586	9.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	38.69	—
2026年2月期第1四半期	33.75	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2027年2月期第1四半期	110,536	50,658	50,340	45.5
2026年2月期	110,385	50,154	49,860	45.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2027年2月期	—				
2027年2月期（予想）		31.00	—	31.00	62.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	60,920	6.5	10,200	8.2	10,160	8.9	6,990	7.8	6,900	151.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年2月期1Q	46,271,400株	2026年2月期	46,271,400株
2027年2月期1Q	761,775株	2026年2月期	761,197株
2027年2月期1Q	45,509,734株	2026年2月期1Q	45,493,156株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、2026年7月15日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
(売上収益)	10
(1株当たり利益)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く外食産業においては、賃上げや雇用情勢の改善を背景として個人消費の緩やかな回復が見られたほか、インバウンド需要が引き続き好調なことにより、外食需要は堅調に推移しました。一方で、中東情勢の影響を受けた消耗品やエネルギーコスト高騰、不安定な国際情勢の影響による為替・金利の変動、人材採用難による働き手不足や人件費の上昇、お客様のライフスタイルや価値観の変化など、極めて先行きの不透明な事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「CONNECT 2030」に掲げる『“KUTSUROGI”で人と地域と世界をつなぐ』をスローガンに、お客様第一の継続と持続的な成長追求、お客様への新しい価値共創、DX投資の加速と財務基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上収益は15,413百万円（前年同期比12.7%増）となりました。営業利益は2,646百万円（前年同期比15.5%増）、税引前四半期利益は2,590百万円（前年同期比13.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,761百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

また、当社グループは、主に国内にコメダ珈琲店を6店舗出店、海外ではシンガポールにKaffe & Toastを1店舗出店し、当第1四半期連結会計期間末の店舗は1,156店舗となりました。

【当社グループの国内ブランド別/海外地域別店舗数】

セグメント	ブランド/地域	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	当第1四半期 連結会計期間末
国内事業	コメダ珈琲店	1,030 (22)	6 (－)	1 (－)	1,035 (22)
	おかげ庵	18 (9)	－ (－)	－ (－)	18 (8)
	その他	19 (19)	－ (－)	－ (－)	19 (19)
	小計	1,067 (50)	6 (－)	1 (－)	1,072 (49)
海外事業	上海	5 (－)	－ (－)	－ (－)	5 (－)
	台湾	36 (18)	－ (－)	－ (－)	36 (18)
	香港	7 (－)	－ (－)	－ (－)	7 (－)
	インドネシア	2 (2)	－ (－)	－ (－)	2 (2)
	シンガポール	33 (33)	1 (1)	－ (－)	34 (34)
	小計	83 (53)	1 (1)	－ (－)	84 (54)
合計		1,150 (103)	7 (1)	1 (－)	1,156 (103)

- (注) 1. () 内の数字は直営店舗数であり、内数で記載しております。
2. 国内事業におけるその他ブランドは、BAKERY ADEMOK、KOMEDA is □、大飴吉日、ジェリコ堂、米屋の太郎、La Vinothèque、ベイス、BLUE LEAF CAFÉを含んでおります。
3. おかげ庵について、直営店1店舗をF C化しております。

セグメント別の状況については以下のとおりです。

(国内事業)

国内では、「ポケモンと過ごすくつろぎ時間、再び」と題し、「ポケモンといっしょだモン♪」キャンペーンを実施しました。第1弾として「メタモンのシロノワール ブルーベリーフロマージュ」ほか2品、第2弾として「カイルューのシロノワール カスタードプリン」ほか2品を展開したことに加え、株式会社ロッテ様のロングセラーチョコレート「クランキー」とコラボレーションした「シロノワール CRUNKY」等を発売し、多くのお客様にご来店いただきました。また、コメダ公式アプリでモバイルオーダーし、スタンプを6個ためるごとにドリンク1杯無料券がプレゼントされるスタンプキャンペーンを実施し、アプリを通じたお客様の利便性向上に努めました。

これらの取り組みにより、当第1四半期連結累計期間におけるF C加盟店向け卸売の既存店売上高前年比は107.4%、全店売上高前年比は110.1%となりました。

以上の結果、国内事業の当第1四半期連結累計期間の売上収益は13,769百万円（前年同期比11.6%増）、セグメント利益は3,138百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

(海外事業)

海外では、シンガポールにおいて、Kaffe & Toast to-go Great World City Mall店を出店したほか、台湾においては、日本と同様に「ポケモンといっしょだモン♪」キャンペーンを4月から実施し、多くのお客様にご来店いただきました。

以上の結果、海外事業の当第1四半期連結累計期間の売上収益は1,647百万円（前年同期比22.4%増）となりました。一方で、コーヒー豆などの主要な原材料価格高騰の影響を受けてセグメント利益は108百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

なお、当社グループは、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を「くつろぎをともに創る」、「くつろぎを創る人を支える」、「くつろぎの環境を守る」の3つのテーマに分類し、各テーマのもとで経済価値の向上と社会課題の解決に貢献すべく、取り組みを実施しております。詳細につきましては、当社ホームページをご参照ください。

- <https://komeda-holdings.co.jp/materiality/>
- <https://komedacomestruue.komeda.co.jp/action/>

(2) 当四半期の財政状態の概況

①財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりです。

流動資産は、現金及び現金同等物の増加等により前連結会計年度末に比べ355百万円増加し、21,937百万円となりました。非流動資産は、営業債権及びその他の債権等の減少により前連結会計年度末に比べ204百万円減少し、88,599百万円となりました。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ151百万円増加し、110,536百万円となりました。

また、流動負債は、その他の金融負債の増加等により前連結会計年度末に比べ506百万円増加し、16,917百万円となりました。非流動負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ859百万円減少し、42,961百万円となりました。その結果、負債は、前連結会計年度末と比べ353百万円減少し、59,878百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ504百万円増加し、50,658百万円となりました。これは主に、四半期利益を1,781百万円計上した一方で、剰余金の配当1,365百万円を実施したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,070百万円増加し、9,929百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は3,054百万円（前年同期比1,707百万円増）となりました。これは主に税引前四半期利益2,590百万円（前年同期比300百万円増）を計上したこと、その他の金融負債の増加額1,606百万円（前年同期比857百万円増）、法人所得税等の支払額1,414百万円（前年同期比91百万円減）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による収入は1,095百万円（前年同期は436百万円の支出）となりました。これは主に定期預金の純増減1,500百万円（前年同期比1,500百万円増）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は3,137百万円（前年同期比1,878百万円増）となりました。これは主に借入金の返済による支出506百万円（前年同期比0百万円）、リース負債の返済による支出1,290百万円（前年同期比239百万円増）及び親会社の所有者への配当金の支払額1,341百万円（前年同期比136百万円増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の連結業績予想について、2026年4月8日に公表した通期連結業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,859	9,929
営業債権及びその他の債権	8,120	8,877
その他の金融資産	3,456	1,981
棚卸資産	598	582
その他の流動資産	549	568
流動資産合計	21,582	21,937
非流動資産		
有形固定資産	16,384	16,362
のれん	39,789	39,809
その他の無形資産	1,268	1,313
営業債権及びその他の債権	27,131	26,844
その他の金融資産	3,567	3,642
繰延税金資産	119	106
その他の非流動資産	545	523
非流動資産合計	88,803	88,599
資産合計	110,385	110,536
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	3,170	3,166
借入金	2,024	2,024
リース負債	4,892	5,024
未払法人所得税	1,560	898
その他の金融負債	3,348	4,272
その他の流動負債	1,417	1,533
流動負債合計	16,411	16,917
非流動負債		
借入金	5,063	4,557
リース負債	30,663	30,192
その他の金融負債	6,811	6,904
引当金	531	549
繰延税金負債	100	100
その他の非流動負債	652	659
非流動負債合計	43,820	42,961
負債合計	60,231	59,878
資本		
資本金	673	673
資本剰余金	13,069	13,082
利益剰余金	37,692	38,088
自己株式	△1,990	△1,992
その他の資本の構成要素	416	489
親会社の所有者に帰属する持分合計	49,860	50,340
非支配持分	294	318
資本合計	50,154	50,658
負債及び資本合計	110,385	110,536

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上収益	13,676	15,413
売上原価	△9,620	△10,777
売上総利益	4,056	4,636
その他の営業収益	103	56
販売費及び一般管理費	△1,861	△2,046
その他の営業費用	△7	-
営業利益	2,291	2,646
金融収益	24	8
金融費用	△25	△64
税引前四半期利益	2,290	2,590
法人所得税費用	△731	△809
四半期利益	1,559	1,781
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,535	1,761
非支配持分	24	20
四半期利益	1,559	1,781
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	33.75	38.69
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	-	-

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期利益	1,559	1,781
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	27	77
税引後その他の包括利益	27	77
四半期包括利益	1,586	1,858
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,562	1,834
非支配持分	24	24
四半期包括利益	1,586	1,858

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
2025年3月1日残高	672	13,062	33,825	△2,028	87	45,618	△0	45,618
四半期利益			1,535			1,535	24	1,559
その他の包括利益					27	27	0	27
四半期包括利益合計	—	—	1,535	—	27	1,562	24	1,586
新株予約権の行使	1	1				2		2
株式報酬取引		12				12		12
配当金			△1,228			△1,228		△1,228
自己株式の取得		1		△1		△0		△0
連結範囲の変動						—	134	134
所有者との取引額合計	1	14	△1,228	△1	—	△1,214	134	△1,080
2025年5月31日残高	673	13,076	34,132	△2,029	114	45,966	158	46,124

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
2026年3月1日残高	673	13,069	37,692	△1,990	416	49,860	294	50,154
四半期利益			1,761			1,761	20	1,781
その他の包括利益					73	73	4	77
四半期包括利益合計	—	—	1,761	—	73	1,834	24	1,858
株式報酬取引		11				11		11
配当金			△1,365			△1,365		△1,365
自己株式の取得		2		△2		—		—
所有者との取引額合計	—	13	△1,365	△2	—	△1,354	—	△1,354
2026年5月31日残高	673	13,082	38,088	△1,992	489	50,340	318	50,658

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,290	2,590
減価償却費及び償却費	579	635
金融収益	△24	△8
金融費用	25	64
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△398	△482
差入保証金及び建設協力金の増減額 (△は増加)	△26	△108
営業債務の増減額 (△は減少)	△90	△10
預り保証金及び建設協力金の増減額 (△は減少)	△49	105
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	749	1,606
その他	△188	109
小計	2,868	4,501
利息の受取額	0	6
利息の支払額	△16	△39
法人所得税等の支払額	△1,505	△1,414
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,347	3,054
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減 (△は増加)	—	1,500
有形固定資産の取得による支出	△322	△326
無形資産の取得による支出	△114	△80
その他	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436	1,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	1,500	—
借入金の返済による支出	△506	△506
リース負債の返済による支出	△1,051	△1,290
株式の発行による収入	3	—
自己株式の取得による支出	△0	—
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,205	△1,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,259	△3,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	58
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△377	1,070
現金及び現金同等物の期首残高	10,390	8,859
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	287	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,300	9,929

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

事業セグメントは、他の事業セグメントとの取引を含む、収益を獲得し、費用を発生させる事業活動の構成単位であります。セグメント情報には、各セグメントに直接的に帰属する項目のほか、合理的な基準により各セグメントに配分された項目が含まれております。

当社グループは、国内において、主にコメダ珈琲店及びおかげ庵のブランドでフルサービス型の喫茶店のF C事業及び直営店、その他のブランドで飲食店等を運営しております。また、海外の関係会社は、それぞれ独立した経営単位であり、現地の文化と慣習を尊重し、各地域においてコメダ珈琲店のF C事業、直営店及び各ブランドの飲食店を展開する事業活動を行っております。

したがって、当社グループの事業セグメントは、各地域に根差した商品及びサービスを店舗において提供するフルサービス型の喫茶店のF C事業及び各ブランドの飲食店等により構成されており、業績管理区分に従い、「国内事業」及び「海外事業」の2区分を報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、要約四半期連結財務諸表作成の会計方針と同一であり、報告セグメントの利益は、営業利益であります。

セグメント間の売上収益は、市場実勢価格を勘案して決定された金額に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上収益	12,330	1,346	13,676	—	13,676
セグメント間の売上収益	3	—	3	△3	—
合計	12,333	1,346	13,679	△3	13,676
セグメント利益	2,734	136	2,870	△579	2,291
金融収益	—	—	—	—	24
金融費用	—	—	—	—	△25
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,290

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去及び全社機能に係る損益が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上収益	13,766	1,647	15,413	—	15,413
セグメント間の売上収益	3	—	3	△3	—
合計	13,769	1,647	15,416	△3	15,413
セグメント利益	3,138	108	3,246	△600	2,646
金融収益	—	—	—	—	8
金融費用	—	—	—	—	△64
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,590

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去及び全社機能に係る損益が含まれております。

(売上収益)

前第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

(単位：百万円)

	国内事業	海外事業	合計
卸売	9,281	189	9,470
直営店売上	1,437	1,127	2,564
店舗開発収入	254	—	254
その他	933	29	961
顧客との契約から認識した収益 計	11,905	1,344	13,249
リースに係る収益	425	2	427
その他の源泉から認識した収益 計	425	2	427
合計	12,330	1,346	13,676

当第1四半期連結累計期間（自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）

(単位：百万円)

	国内事業	海外事業	合計
卸売	10,303	230	10,533
直営店売上	1,611	1,385	2,996
店舗開発収入	336	—	336
その他	1,081	30	1,111
顧客との契約から認識した収益 計	13,331	1,645	14,976
リースに係る収益	435	2	437
その他の源泉から認識した収益 計	435	2	437
合計	13,766	1,647	15,413

(1株当たり利益)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益 (百万円)	1,535	1,761
発行済普通株式の期中加重平均普通株式数 (株)	45,493,156	45,509,734
希薄化効果のある株式数	—	—
希薄化効果調整後の期中加重平均普通株式数 (株)	—	—
基本的1株当たり四半期利益 (円)	33.75	38.69
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	—	—